



事業概要

都市ガス事業

都市ガスは、地域の暮らしと産業を足元から支える地域インフラです。

安全・安心、安定供給の確保を最優先に、環境負荷の小さい天然ガスの普及を推進。

日々の安心と地域社会の持続可能な生活基盤を築き、カーボンニュートラルな未来の実現に貢献します。

都市ガスの普及拡大

天然ガスは、第7次エネルギー基本計画において、「化石燃料の中で温室効果ガスの排出が最も少なく、燃料転換等を通じた天然ガスシフトが進むことで環境負荷低減にも寄与する」と明記されており、「カーボンニュートラル実現後も重要なエネルギー源」と位置付けられています。

カーボンニュートラルに向けた足元のトランジション期においては、石炭や重油などから環境負荷の小さい天然ガスへの燃料転換、コージェネレーションやエネファームの導入などによるエネルギーの高度利用を通じて、低炭素社会の実現に貢献します。さらに、将来的なe-methane(e-メタン)の実装などによるガス自体の脱炭素化も見据え、今後もお客さまに安心してガスをお使いいただけるよう、安全・安心、安定供給の確保を最優先に、都市ガスの普及拡大を促進していきます。

調達ポートフォリオの構築

都市ガスの原料となるLNGは、2025年度から新たにカナダを加え、アジア・太平洋地域および北米地域の5か国から調達します。地政学リスクや市況の急激な変動に備え、調達地域の分散化や契約の多様化を図り、長期契約を基本とした調達ポートフォリオを構築します。



LNGカナダプロジェクト

調達力強化に向けたLNG取引の推進

エネルギー市場の流動性が高まる中、安定調達を基本としつつ、LNG取引拡大に向け、シンガポール法人※1を中心とした体制を整備します。また、将来の柔軟性に資する取り組みとして、東邦ガスグループが出資するLNG船の竣工を予定しています。

※1 TOHO GAS SINGAPORE PTE.LTD.

災害対応力の一層の強化※2

安全・安心、安定供給を確保するため、ハード・ソフトの両面からの各種対策を着実かつ計画的に推進するとともに、災害リスクへの対応力を一層強化していきます。

南海トラフ地震など、有事の際の供給の継続や被害の最小化に向けて、設備の地震や津波対策などに加え、各種訓練を実施します。自治体、他ガス事業者、インフラ事業者、工事会社などとの連携・協力関係を築き、有事における相互連携や早期復旧につなげます。

※2 記載の内容はすべてのガス小売事業者に適用されるものです。



東邦ガスグループ総合防災訓練の様子

サイバー攻撃へのさらなる対策

サイバー攻撃の脅威が高まる中でも、供給に重大な影響が発生しないよう、各拠点の制御・監視システムのセキュリティ対策を継続的に進めます。



事業概要

ガス導管事業

地域に張り巡らされたガス管は、くらしや産業を支えるライフラインです。経年管対策による強靱なインフラ構築のほか、先進技術の活用による業務の高度化・効率化を推進。24時間365日安全・安心と安定供給を確保し、社会の持続的発展に貢献します。

安全・安心、安定供給と効率化の両立

国が定める安全高度化計画の改訂を受けて、他工事事故防止に資する取り組みの展開や経年管対策の着実な推進、本支管の耐震化率のさらなる向上などの従来の取り組みに加え、他社で発生した事故事例も踏まえ、適切な保安対策を強化します。

また、経年管対策では、AIを活用した導管の劣化予測、導管を非開削で入れ替え・修理する工法など、先進技術を活用した保安の高度化と運用の効率化を推進します。スマートメーターの設置を着実に進めるとともに、遠隔検針への円滑な切り替えやガス漏れ通報時の遠隔閉栓への活用など、さらなる業務効率化や迅速な安全確保などを実現します。

保有技術の外販

保有する技術は地域インフラの老朽化や人口減少による人手不足などの社会課題の解決にも貢献することから、コストダウン・環境負荷低減効果が高い非開削工法*や、ガバナのガス圧力を遠隔で監視するシステムなどの技術について、国内の都市ガス事業者に加え、水道事業者などへも展開します。

※ 工事区間の両端に掘削坑を設け、ガス導管を地中に引き込む工法



事業概要

LPガス事業

LPガスは、優れたクリーン性と可搬性を備え、場所を選ばずくらしと産業を支えるエネルギーです。分散型という特徴から、災害時には迅速な復旧を可能にする「最後の砦」として地域のレジリエンス向上に貢献。培ってきた保安ノウハウを活かし、安定供給を通じて持続可能な社会の実現に貢献します。

事業規模の拡大

東海三県を中心としたコアエリアでの新規開発を通じてシェアアップを図ります。また、静岡や長野などにおいて、広域開発に取り組みます。

業務基盤・サプライチェーンの強化

無線通信技術の活用拡大やAIによる配送ルート最適化などにより、配送業務の効率化を進めます。同業他社との配送アライアンスや原料受入基地の柔軟性向上などを通じ、効率化を進めるとともに供給の安定性を高めます。

レジリエンス向上への貢献

オンサイトでの備蓄性に優れるLPガスは、2025年2月に閣議決定された第7次エネルギー基本計画でも「重要なエネルギー源」と位置付けられています。今後もLPガスの普及拡大ならびに、災害時の対応に向けた設備導入を進めます。



事業概要

電気事業

ガス事業で培った基盤と信頼を活かし、地域の皆さまへ電気をお届けしています。

電気事業の収支拡大・安定化のため、LNGを活用した火力発電所の開発も推進。

加えて独自の電力サービスや再生エネ電源の開発を進め、地域社会の持続可能な発展と豊かなくらしに貢献します。

電気事業の安定化・基盤強化

火力発電所の共同開発

(株)JERAと共同で設立した知多エナジーソリューションズ(同)が主体となり、世界最高水準の発電効率を誇るLNG火力発電所の建設に着手しました。2029年度の運転開始を予定しており、将来的には水素への燃料転換も視野に入れています。

ガスエンジン発電設備の建設

JFEスチール(株)知多製造所構内にて、10万kW級のガスエンジン発電設備建設に着手します。発電量を柔軟に調整できることが特徴であり、発電量が変動する再生可能エネルギーの普及拡大に貢献します。



[知多火力発電所7、8号機]完成予想図
(2029年度運転開始予定)



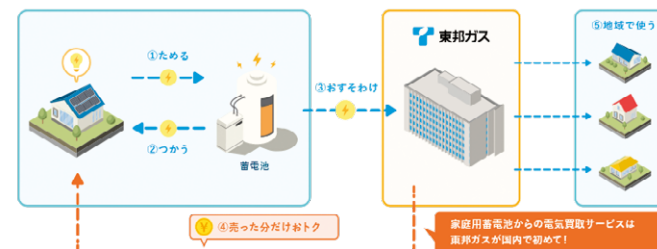
地域新電力会社一覧(2026年3月末時点)

地域新電力の取り組み

自治体などと共同で地域新電力会社を設立し、ごみ発電などの地産電源から得られた電力を供給することで、地域のカーボンニュートラルを推進します。東海三県で、7自治体と6社の地域新電力を設立し、事業運営を行っています。

電力サービスの開発・推進

家庭用蓄電池の逆潮流を買い取る日本初のサービス「わけトク」をはじめ、スタートアップなどとも連携を図りながら、多様な電力サービスの開発を推進します。



電力買取サービス「わけトク」(2024年10月開始)のスキーム

再生エネ電源の拡大

多様な電源開発を進めており、2025年9月に唐津(佐賀県)および田原(愛知県)のバイオマス発電所の運転を開始しました。

東京センチュリー(株)と共同で設立したTTブラザーズ(同)など、他社との連携スキームも活用し、安定的な再生エネの確保にも努めます。並行して、出力変動のある再生エネを有効に活用するため、蓄電池など調整電源の整備を進めます。



唐津バイオマス発電所



事業概要

海外事業

ガス事業で培った技術と知見を活かし、アジアをはじめとする世界各地でエネルギー事業を展開しています。

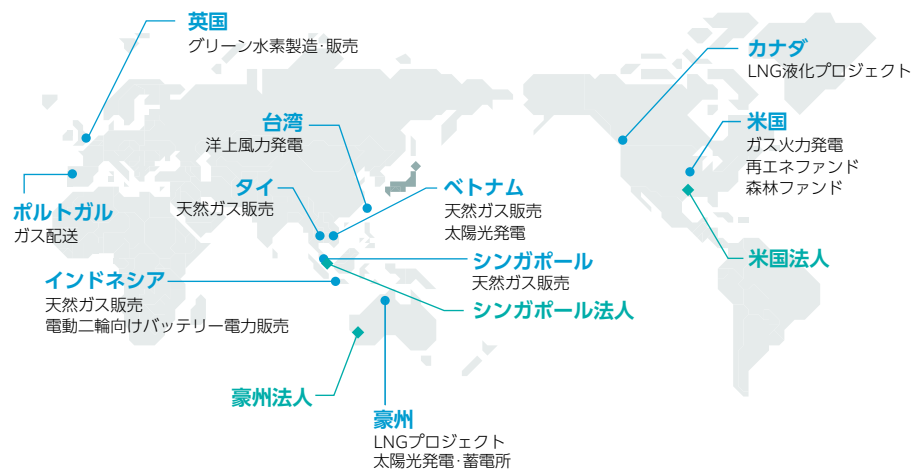
次代の利益成長の原動力として、ガスを中心とした事業拡大や再エネの普及を推進。

その土地に根差したエネルギーの形を追求し、地域の経済成長と低・脱炭素化を両立させることで、持続可能な国際社会の発展に貢献します。

海外でのエネルギー関連ビジネスの概要

エネルギー需要が高まる東南アジアでは、東邦ガスグループの天然ガス利用などに関する知見・ノウハウを活用するとともに、バイオガスをはじめとする事業開発を推進し、現地の経済成長と低・脱炭素化の両立に貢献します。

シンガポールや豪州の拠点に加え、2025年度にベトナムやインドネシア、米国で新たな拠点を設立し、新規案件の発掘活動を進めるとともに、出資先を営業面・技術面でサポートする体制を整備しました。堅実な成長市場である再エネ関連や天然ガス利用に係る事業において出資や協業を推進するとともに、カーボンニュートラル社会の実現に貢献します。



出資参画済み海外案件および海外法人(子会社)

アジア・北米などでの取り組み

国内事業で培った経験やノウハウを活用し、エネルギー需要の増加が見込まれるアジアの低炭素化に資する天然ガスの普及拡大・高度利用を推進します。また、再エネやバイオガスなどの新燃料の開発に係る事業性検討を進め、アジアにおけるカーボンニュートラルの実現に向けた道筋づくりやシナジー創出に取り組みます。北米・豪州などにおいては、出資済みのファンドや再エネ開発事業者など既存パートナーと連携した案件開発や強みである天然ガスのバリューチェーン上の事業開発を推進し、事業ポートフォリオの拡充につなげます。



YES Groupが保有する太陽光発電所・蓄電池(建設中)



事業概要

カーボンニュートラル

トランジション期において、天然ガスの高度利用とソリューション提案を軸に低炭素化を牽引します。

2050年カーボンニュートラル実現に向けて、複数の手段で供給エネルギーのカーボンニュートラル化を進めるとともに、お客さま先での課題解決を支援。

培った技術と知見を活かして多様なソリューションを提供し、地域・お客さまとともにカーボンニュートラル社会の実現にグループ丸となって取り組んでいきます。

基本的な考え方と全体像

国の第7次エネルギー基本計画等の政策に示された「S+3E」をベースに、まずは足元からのCO₂排出量の削減に向け、低炭素化に資する天然ガスの普及拡大やソリューション提供に注力します。

また、2050年に向けて、政策動向、技術の成熟度や経済性を踏まえつつ、お客さまの多様なニーズに対応するため、e-メタンやバイオガス、カーボン・クレジット、再エネなど、複数の手段での供給エネルギーのカーボンニュートラル(以下、CN)化を実現します。

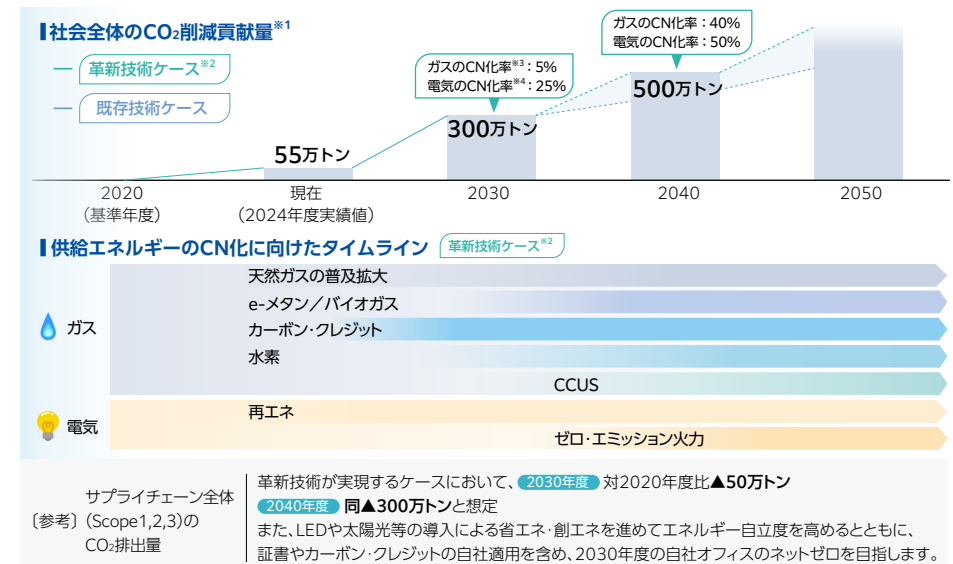
これにより、東邦ガスグループは、お客さまが求めるソリューションを提供し、CN社会の実現と地域のさらなる発展に貢献します。

当社グループの目指す“2050年CNの全体像”



社会全体のCO₂排出量削減に向けたロードマップ

天然ガスへの転換や省エネ化などによる低炭素化の推進と供給エネルギーのCN化を図り、社会全体のCO₂排出量を削減し、2050年のサプライチェーン全体でのCN化を目指します。



※1 国内外での低炭素化・CN化に資する製品・サービス(天然ガス、e-メタン、バイオガス、再エネなど)の普及を通じて、社会全体の温室効果ガスの排出削減に貢献した度合いを数値化して評価するもの

※2 国の第7次エネルギー基本計画を参照し、カーボンニュートラルの進捗状況に幅を持ったシナリオを想定する中、技術的なブレイクスルーの実現、大幅なコスト低減等が進み、さまざまな革新技術を活用することで、カーボンニュートラル化が進展するケース

※3 e-メタンやバイオガスに加え、カーボン・クレジット、水素等、複数の手段を組み合わせた取り組み

※4 自社保有電源(FIT(再生可能エネルギーの固定価格買取制度)/非FIT問わず)や証書など、複数の手段を組み合わせた取り組み

事業概要

カーボンニュートラル

e-メタン／バイオガス

水素と工場等で排出されたCO₂から製造するe-メタンや、生ごみ等から製造するバイオガスは、製造等の過程で回収・吸収されるCO₂と、消費（燃焼）時に排出されるCO₂が相殺されることから、大気中のCO₂が増加しないカーボンニュートラル（以下、CN）な燃料と評価されています。お客さまの設備を含む既存インフラを活用できるため、社会コスト抑制と利便性の維持が可能です。円滑なCN化に貢献するため、幅広いパートナーとの協業を通じて本格導入に向けた取り組みを推進します。

国内でのe-メタン製造

愛知県知多市にて、下水汚泥処理で発生するバイオガス由来のCO₂と、冷熱発電*によるクリーンな電力由来の水素を原料としたe-メタン製造実証を、2024年3月から実施しています。国内で初めてe-メタンを都市ガス原料として利用するなどの先進的な取り組みや、地域資源の有効活用などが評価され、令和7年度新エネ大賞「新エネルギー財団会長賞」や2026愛知環境賞「金賞」を受賞しました。当実証を通じて、製造設備の大規模化や低コスト化などの課題解決につなげていきます。

※ LNG（液化天然ガス）の持つ冷熱を活用した発電方式

海外からのe-メタン／バイオガスの調達

2030年度からの本格導入に向け、大量かつ安定的な製造が可能な海外からのe-メタンおよびバイオガスの調達を計画しています。e-メタンでは北米や豪州のプロジェクトに参画しており、他のエリアも含めてポテンシャル調査を進めつつ、開発に注力します。バイオガスについても北米・南米・東南アジアなどで幅広くポテンシャル調査を進めながら、調達の実現に向けて検討を推進します。また、2025年7月に米国からバイオガスの試験調達を実施し、お客さまニーズの開拓などを進めています。

e-メタンの国際的アライアンスへの参画

e-メタンの世界的な普及拡大を目指す国際的アライアンス「e-NG Coalition」に参画しており、国や業界を超えた協働を行うことで、e-メタンの世界的な普及拡大、およびCN社会の実現を目指します。

クレジット創出

国内では、自治体と連携したエネファームや太陽光発電由来のJ-クレジット創出の取り組みを順次拡大しています。また、森林由来のJ-クレジット創出において、信頼性向上を目指し、ドローンとAIを組み合わせたモニタリング方法の構築に取り組んでいます。

海外では、民間による二国間クレジット制度（民間JCM）を活用したクレジットの創出を目指し、フィリピンにおける水田由来のカーボン・クレジット創出プロジェクトの実証に着手しています。



フィリピンにおける創出プロジェクト（実証）の現地の様子

お客さまに提供するソリューション

都市ガスのメニュー別排出係数の設定

国内法に基づく温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度（SHK制度）に沿ってCO₂排出量の削減が可能なメニューの取り扱いを拡大しています。

愛知県知多市で製造・都市ガス原料として利用しているe-メタンについて、SHK制度における基礎排出係数がゼロとなるメニューを、2025年度に国内で初めて設定しました。また、都市ガスの燃焼によって発生するCO₂をJ-クレジットなどでオフセットすることで、同制度における調整後排出係数をゼロとすることができるメニューを設定し、お客さまにカーボン・オフセット都市ガスとして供給しています。

今後も、e-メタンやカーボン・クレジットなどの複数の手段を組み合わせ、お客さまが求めるソリューションを提供します。

カーボンニュートラルに向けたパートナーとの連携

地域の自治体や協業先との連携

「中部圏水素・アンモニア社会実装推進会議」や、「みなとアクルス脱炭素先行地域」などへの参画を通じて、地区単位でのCN化や環境と共生するまちづくりに貢献します。

カーボンニュートラル技術・サービスの探索・育成

CN関連のスタートアップ等への出資・連携を通じて、CNに資するサービスや技術の社会実装を加速します。

事業概要

カーボンニュートラル

水素製造・輸送の技術開発

水素製造

都市ガスを原料としてお客さま先で水素を製造することにより水素輸送コストを低減し、さらに副生物の固体炭素を販売することで、低コストで水素を製造することができる「ターコイズ水素」の技術を開発・実証します。

水素輸送

水素向けパイプラインに関し、材料評価のノウハウ蓄積や設計・敷設・維持管理などに必要な技術調査を実施しており、水素需要の高まりに応じて、効率的な輸送方法を検討します。

水素サプライチェーン構築

需要創出

行政や企業などと連携し、産業・輸送車両、工業炉等、水素の利用拡大に資する実証・開発を進めており、モビリティや熱分野の需要を創出していきます。

モビリティ分野では、2030年度までに燃料電池商用車7,000台を導入する愛知県の目標に対し、当社は行政や他事業者と連携しながら、水素ステーションの運営などを通じて今後も貢献していきます。

熱分野では、お客さま先で水素・都市ガス兼用バーナーを用いた燃焼技術実証を行うなど、水素燃焼に関する技術開発を推進しています。

水素サプライヤー

知多緑浜水素製造プラントや愛知県で4か所運営する水素ステーションを起点に、水素を安定供給します。水素の製造・利用に関する技術開発や水素ステーションの整備・運営など、水素社会の実現に向けた取り組みを進めていきます。



知多緑浜工場の水素製造プラント
(2024年6月運転開始)



みなとアクルス水素ステーション

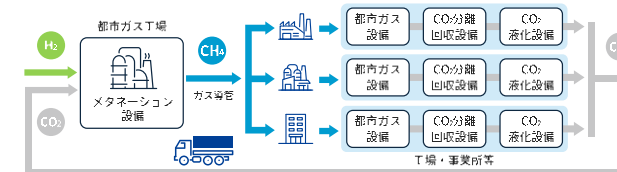
CO₂分離回収の技術開発

カーボンリサイクルの起点となるCO₂分離回収技術について、産学官の連携のもと開発を推進します。LNG未利用冷熱を活用して安価にCO₂を回収する技術「Cryo-Capture®」「Cryo-DAC®」や、需要地の排ガスからCO₂を分離回収する技術の開発を推進し、社会実装フェーズ(製品化)への移行を目指します。

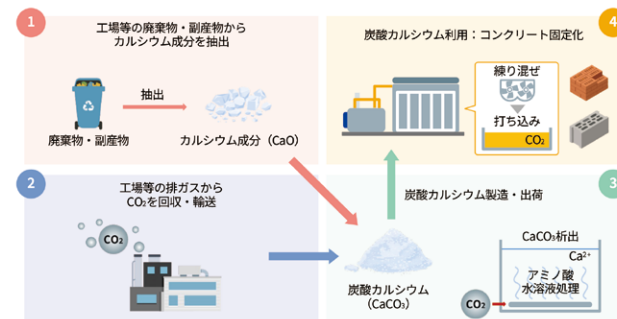
さまざまなCO₂回収・利用・貯留の実用化

CO₂回収利用(CCU)の実用化に向けて、お客さま先の工場等で排出されるCO₂を回収・輸送し、当社工場でe-メタンの製造・供給を目指す「CO₂の地域循環モデル」の共同実証を(株)アイシン、(株)デンソーと2026年3月に開始しました。

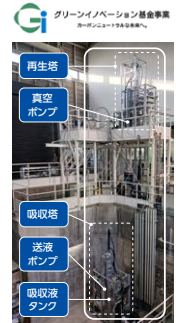
CO₂回収・貯留(CCS)の社会実装に向けては、CO₂をコンクリートの原料として固定化するプロジェクトを産学官連携で推進しています。今後も各種プロジェクトへの関与を深め、解決策の具体化を図ります。



CO₂の地域循環モデル(将来イメージ)



CO₂のコンクリート固定化検討(愛知県事業化支援)





事業概要

くらしまわりのサービス

エネルギー供給の枠を超え、住・食・健康など日々の生活シーンに寄り添う「くらしのパートナー」を目指します。
リフォームなどの商材やサービスの拡充を通じて、お客さま一人ひとりの安心と快適を広げ、関係を深化。
地域とともに歩み、お客さまの豊かなくらしに貢献します。

「東邦ガスくらし」ブランド

2023年10月1日に「東邦ガスくらし」ブランドを立ち上げました。

「明日のくらしを、今日より豊かに。」というメッセージのもと、東邦ガスグループ・サービス店がお客さま一人ひとりに寄り添うくらしのパートナーとなり、お客さまの理想のくらしの実現をサポートしていきます。

このブランドを通じて、今まで以上にお客さまの多様なニーズにお応えし、地域の発展に貢献していきます。

営業提案の強化・アライアンス

地域に密着した「東邦ガスくらしショップ」を中心にリアル接点でのお客さまとの関係を深化していきます。各種機器の販売・施工・修理やリフォームなどを高い専門性でご提供するとともに、エネルギーとさまざまなサービスを一体的にお届けし、くらしのパートナーとしてお客さまに寄り添います。

「Club TOHOGAS MALL」の開始

「Club TOHOGAS MALL」は、くらしの充実をサポートするECサイトとして、ガス機器、住宅設備、リフォームプランのほか、ハウスクリーニングなどのサービスや、食・健康・防犯・防災などの分野でさまざまな商品を提供しています。今後もくらしに新たな価値をもたらす商品やサービスを拡充していきます。

Club TOHOGAS ～お得な特典や便利なお手続きのサイト～

「Club TOHOGAS」は、お客さまの「あしたがつてきになる」おトクで便利なWeb会員サービスです。
ご登録いただいたお客さまへ、毎月のガス・電気料金をタイムリーに分かりやすくお知らせすることで、紙の検針票や請求書などの削減を通じた環境保全に努めています。

光回線サービス「東邦ガス光」

「東邦ガス光powered by USEN NETWORKS」は、当社の都市ガスまたは電気とのセットで安価にご提供する光回線インターネットサービスです。通信分野でもお客さまのくらしを支えています。

東邦ガスグループのお水の宅配サービス「東邦ガスくらしの水」

東邦ガスライフソリューションズでは、アクアクララ(株)と提携し、徹底した衛生管理のもと自社直営工場で製造した安全で美味しい「お水」※を直接ご家庭や事業所までお届けしています。

ウォーターサーバーを介して冷温水がすぐに使える利便性に加えて、熱中症対策や災害時の備蓄水としてもご利用いただけます。
宅配ボトルはリターナブルボトルを採用。環境にも配慮したサービスを提供しています。

※ 1,000万分の1mmの極小フィルター「RO膜(逆浸透膜)」でろ過した、不純物が限りなくゼロに近いピュアウォーター



事業概要

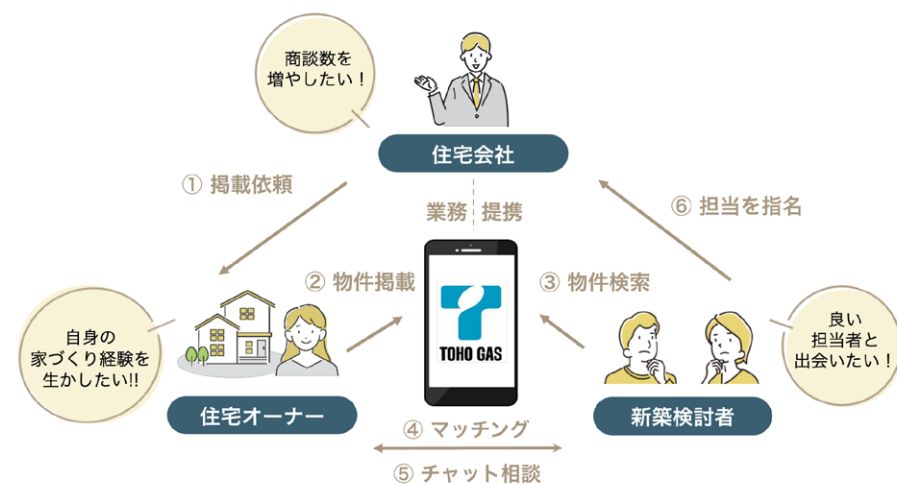
くらしまわりのサービス

リフォーム専門店「わが家のマイスター」

リフォーム専門のブランド「わが家のマイスター」を23店舗（2026年7月末時点）で展開しています。住まいに関するお客さまのニーズは多様化しているため、マイスターがその一つひとつに丁寧に向き合い、リフォームをとおしてお客さまの理想の「くらし」を叶えるお手伝いをしています。

デジタル技術を活用したビジネスモデルの構築

家づくりの新たな選択肢となるプラットフォームサービス「イエラボ」を展開しています。今後も地域のくらしに寄り添い、お客さまの「ニーズ」と「解決策」を紡ぐソリューションの共創に挑戦します。



「イエラボ」（2025年3月サービス開始）の概要

サステナブルな社会につながる住まいの提案

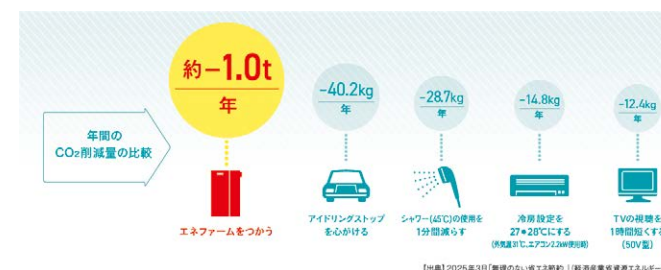
エネファーム・太陽光発電・蓄電池の提案を強化し、新築住宅のZEH[※]対応や既存住宅の省エネ性能向上に貢献します。

また、循環型社会の形成に資する取り組みとして、空き家なども含めた地域のストック住宅の活用・バリューアップなど、事業領域の拡大に向けた検討を推進します。

※ Net Zero Energy Houseの略称。断熱性能や省エネ性能を向上し、さらにエネファームや太陽光発電などで必要なエネルギーをつくることで、年間の一次エネルギー消費量ゼロを目指した住宅

家庭用燃料電池「エネファーム」

エネファームは、お客さまのご自宅で電気をつくり、お湯も同時につくり出す家庭用燃料電池です。都市ガスから取り出した水素を、酸素と反応させて電気と熱をつくることで、エネルギーのムダを減らし、CO₂を削減します。また、「停電時発電継続機能」を標準搭載しており、発電中に停電が発生すると、自動で自立運転に切り替わり専用コンセントへ電力を供給するなど、ご家庭のレジリエンス強化にも寄与します。

エネファームによるCO₂削減効果のイメージ

当社試算条件によるシミュレーションの一例（ガス温水床暖房、ガス温水浴室暖房乾燥機あり）です。家族構成、生活パターン、使用機器、使用状況、気温などによって値は異なります。



事業概要

エンジニアリング

長年培ったエネルギー利用技術とノウハウを活かし、お客さまの設備導入から保守まで一貫してサポートします。

強みである現場力と技術力、そして人の総合力を駆使し、生産性向上やカーボンニュートラルなどの多様なニーズに対応。

最適なソリューションの提供を通じて、お客さまや社会の課題解決に貢献します。

お客さまのカーボンニュートラル実現を支援するCN×P事業※の推進

CO₂排出削減ロードマップ策定などのコンサルティングからエンジニアリングまで、ワンストップでお客さま先のカーボンニュートラルに貢献します。

- コンサルティング：お客さまの顕在・潜在ニーズを見える化し、カーボンニュートラルに向けたロードマップ策定を支援します。
- エンジニアリング：ガス・電気・水素・太陽光などのエネルギー設備からプラント設備まで、高い施工品質を提供します。

※ エネルギーの「Professional」として、コンサルティングからエンジニアリングまでワンストップ「Package」で対応。カーボンニュートラルを目指す「Partner」として、お客さまの低・脱炭素化を伴走支援する事業

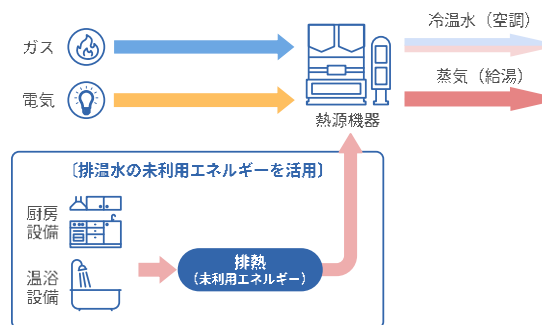
エンジニアリングに関する取り組みの一覧

空調・ コージェネレーション	お客さまのエネルギー利用の最適化に資する設備の提案から設計・施工、メンテナンスまでパッケージで提供します。
工業炉・ボイラ	地域の産業を支える熱分野のソリューションとして、工業炉・ボイラで使用されている燃料の天然ガスへの転換や、省エネルギー設備の導入などを提案します。
プラント	当社の生産体制を支えるエンジニアリング力を活かして、日本全国の都市ガス供給を支えるガスプラントの設計・施工、メンテナンスを提供します。
カーボンニュートラル・ ソリューション	お客さまのカーボンニュートラルやZEBの実現を支援するコンサルティングをきっかけに、エネルギーの見える化や、太陽光発電、蓄電池、産業用ヒートポンプの導入など、お客さまへ最適なソリューションを提案します。また、水素分野では、当社が開発した、都市ガス燃焼と水素燃焼を切り替えられる工業用バーナや、都市ガス専焼運転および水素混焼運転を負荷運転中に任意に切替可能な水素混焼コージェネレーションなどを販売しています。
水素エンジニアリング	水素ステーションやFCフォークリフト用水素製造設備など、水素エンジニアリングの提供などにより、お客さまの水素ニーズにお応えします。

高度な技術力を活かした熱供給事業の推進

「ザ・ランドマーク名古屋栄」(2026年3月竣工)では、当社の地域冷暖房プラントを導入し、設備の運営・維持管理も東邦ガスグループが一貫して担っています。また、当社グループのエンジニアリング力で近隣プラントからの遠隔監視体制を確立し、無人化による大幅な省力化を実現しています。

今後も、再開発の規模や計画に合わせた最適な熱供給システムの提案から効率的な運営・維持管理までをトータルでサポートし、環境に優しいまちづくりに貢献します。



「ザ・ランドマーク名古屋栄」に導入した熱供給システムの概略



ザ・ランドマーク名古屋栄



事業概要

DX・情報サービス

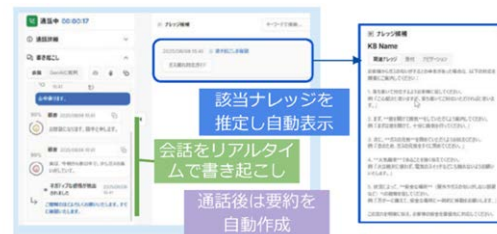
AIの加速的進展を好機と捉え、事業の成長を支えるシステム・DX基盤を構築しています。

データとデジタルの力で既存事業の高度化・効率化を図るとともに、それを担うデジタル人材の育成を推進。

さまざまなテクノロジー企業との連携拡充に取り組み、ステークホルダーの期待を超える新たな事業や商材を創出します。

NamiSense®導入によるお客さまセンター業務高度化

東邦ガスお客さまセンターのDXとして、2026年、ベトナムのAIスタートアップ企業であるNami Technology Joint-stock Companyが開発したコールセンター向けAI音声認識システム「NamiSense®」を導入しました。



リアルタイムにオペレータとスーパーバイザーを支援

NamiSense®

<NamiSense®導入により目指す姿>

お客さま対応の品質向上・電話応答までの待ち時間削減

通話内容の高精度なテキスト化や管理者とのリアルタイム連携機能などにより、お客さま対応の品質向上を図るとともに、事務処理にかかる時間を短縮し、対応件数の増加・電話応答までの待ち時間削減を目指します。

オペレーターの対応負荷軽減・人手不足の解消

AIを用いたナレッジの自動表示や重要確認事項の音声自動チェック機能などによる受付ミスの抑制、新規採用者および新サービスリリース時などの教育負荷の削減を通じて、コールセンターにおける人手不足等の社会的な課題に取り組みます。

セキュリティ対策ノウハウの展開

東邦ガス情報システムは、企業のセキュリティに関するガイドライン整備や脅威情報の把握、教育・訓練コンテンツの活用を可能とするポータルサービス「Security Compass」を、2026年4月から提供開始しました。

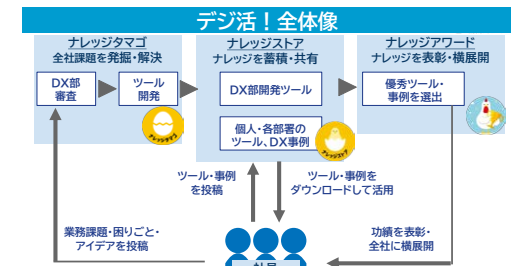


デジ活！を通じたDX風土醸成

「社員のアイデアが東邦ガスグループの未来を創る」をコンセプトに、2025年11月から全社員参加型施策「デジ活！」を開始しました。現場主導の自律的な業務変革を全社的に支援し、社員がデジタル技術を用いて継続的に生産性を高める組織基盤の構築を目指します。

<デジ活！の主な取り組み>

- 社員が業務課題の「アイデア」を投稿し、全社員による投票で支持されたものをDX推進部が実際のツールとして開発し、ナレッジストアに公開。
- 各部署で既に活用されている自作ツールやAI活用ノウハウを一元集約し、他部署の社員が検索・ダウンロードして業務に活用可能な仕組みを構築。
- アイデアの斬新さや横展開のしやすさを多角的に評価し、特に優れた取り組みを表彰するイベントを開催。



全社員参加型DX風土醸成施策の全体像



事業概要

アグリ・フード

エネルギー技術を活かした農業・養殖への挑戦は、食の安定供給と地域振興を支える新たな価値創造の一步です。他社とも連携しながらサステナブルな取り組みを推進し、環境負荷の低減と地域産業の活性化を両立。食のバリューチェーン構築に挑み、地域の魅力向上と社会に共生する未来を切り拓きます。

循環型低炭素農業

出資先の(株)TOWING^{※1}と連携を図る中、宙炭(そらたん)^{※2}製造プラントの設計・施工支援をはじめ、プラント設備の共同研究開発、宙炭を活用した農作物(シャインマスカット)の生産など、「循環型低炭素農業」の実現に向けて、さまざまな取り組みを展開しています。

※1 未利用バイオマスを優れた農業用パイオ炭(宙炭)へアップサイクルする技術を保有する、名古屋大学発のスタートアップ企業

※2 (株)TOWINGが保有する土壌微生物培養技術を活かし、農畜産系・食品系などの未利用バイオマスを炭化したパイオ炭(多孔体)に微生物を付与・培養した高機能パイオ炭



収穫直前のシャインマスカット

知多クールサーモンの陸上養殖

知多緑浜工場内において、LNG未利用冷熱を活用した知多クールサーモンの陸上養殖を2024年11月から本格的に開始し、2026年4月に二期目の出荷を迎えました。地元のスーパーを中心に販売し、地域の多くの皆さまに召し上がっていただきました。



知多クールサーモンの陸上養殖所



事業概要

不動産

エネルギー供給で培った地域との信頼を礎に、保有資産を活かした付加価値の高いまちづくりを推進しています。環境配慮、防災、にぎわいを融合させた空間デザインを通じて、地域の資産価値と魅力を向上。人が集い、交流が生まれる持続可能な都市生活を支えることで、地域とともに成長する未来をデザインします。

みなとアクルスを通じた社会貢献

みなとアクルスでは、「人と環境と地域のつながりを育むまち」をコンセプトに掲げ、まちづくりを進めています。Ⅱ期エリアでは、次世代の省エネ基準をクリアした分譲マンション^{※3}が2026年1月に一部竣工し、収容客数1万人規模の多目的アリーナについては2028年初頭に開業する予定です。また、スケートリンクやプールを備えたスポーツ施設、宿泊・研修施設、ベーカリー&カフェなどを東邦ガス不動産開発が運営しており、サービスの充実に努めています。



パークホームズ LaLa名古屋みなとアクルス シーズンズ

※3 共用部を含む建物全体で一次エネルギー消費量を50%以上削減したマンション(ZEH-M Ready)

自社保有地などの有効利用

くらしやすさや環境配慮など、まちの付加価値を生み出す不動産開発や自社保有地の収益化を進めます。東邦ガス不動産開発では、その一環として、2026年、名古屋市東区の社員寮跡地において野村不動産(株)と共同で分譲マンション事業の建設工事に着手しました。

また、愛知県あま市木田のサービスセンター跡地では、2026年から協業先にてガレージハウス型賃貸マンション事業を開始しています。